

議 事 録

1. 会議の名称	池田市史編纂委員会
2. 開催日時	平成30年5月8日(火) 午後1時00分～2時45分
3. 開催場所	中央公民館 会議室B
4. 出席者 ※委員長：◎ 副委員長：○	《委員》 小田 康徳 ◎ 松永 和浩 田中 晋作 《事務局職員》 田淵教育長 齋藤教育部長 田上教育部次長 武田生涯学習推進課長 細谷主幹 芝原主事 山本主事
4. 議 題	(1) 平成30年度 事務局の体制について (2) 平成29年度 市史編纂事業について (3) 平成30年度 市史編纂に伴う予算について (4) 平成30年度 編纂事業および課題など (5) その他
5. 議事経過	別紙のとおり
6. 開・非公開の別 ※非公開の理由	公開
7. 傍聴者数	0名

開 会

教育長 編纂委員の皆様には、市史編纂事業の課題の検討や調査などにお力添えをいただいていることに改めてお礼を申し上げます。教育委員会の取り組みとしては、池田茶臼山古墳の整備が完了。眺望も良く、市民に親しまれる前方後円墳ということで、是非足を運んでいただきたい。また、平成28～29年度には歴史文化基本構想を策定し、今後ホームページ上でも公開する予定。こういった教育委員会の取り組みに対しても、ご指導、ご助言をお願いします。

(1) 平成30年度 事務局の体制について

事務局 課長以下11名の職員がおり、市史編纂に関わる職員は4名。当課の業務としては、市史編纂の他に、文化財保護、各種団体の育成、社会教育施設の管理など大小40ほどの様々な事業がある。

(2) 平成29年度 市史編纂事業について

史料収集・調査・文書整理・広報など、平成29年度の実施事業、現状や課題に関して事務局より説明。

委員 細河の植木調査とは、具体的にどういったものか。

事務局 日本遺産申請に伴い、細河地域全体の植木の特徴および各集落の家屋や植木畑の違いを調査。かつては、集落ごとに異なった品種を植えていたが、現在ではそういった特徴はあまり見られなかった。また集落の傾向としては、開けた土地が確保できる地域ではオープンな農家・植木畑の形態をしている一方、山手では農家の敷地の境に石垣を使用し植木畑は別の場所にある、といった集落ごとの特徴の違いがあった。

委員 行政文書の収集についての課題は。

事務局 保存年限が過ぎ、各課で直接廃棄されていく文書をいかに収集するかが課題となっている。

(3) 平成30年度 市史編纂に伴う予算について

事務局 資料調査にかかわる予算については、昨年度と同様。

(4) 平成30年度 編纂事業および課題などについて

事務局 収集資料の保管場所やデータベースの管理の課題がある。また、編纂時に資料の調査を実施してからかなりの年月が経過しており、現状確認や資料の利活用に関する了承のためにも、悉皆再調査が必要と感じている。情報発信に関しては、広報誌への記事掲載等を実施しているが、観光史跡マップや子ども向けの簡単なダイジェスト版の作成に取り組んでゆきたい。

委員 資料の管理は大切。記録は大切な財産であり、市そのものである。一括保管が最終的な目標。

委員 資料のデータベース管理に関する課題とは。

事務局 目録のファイルが細分化しており、管理が行き届いていない状況。

委員 以前の調査先の再調査はたいへん重要なことである。現在、資料がどうなっているのか把握することが重要。

委員 子ども向けのダイジェスト版や史跡マップについては、こういったものを考えているのか。

事務局 現在、読みやすい図書として『池田学講座』が発売されており、非常に評判が良い。ただ、小中学生が読めるくらいに簡単なものがほしいという声がある。製本という形はとらず、プリントを綴じたようなものやHPへの公開を考えている。史跡マップに関しても、池田市としてまとめたものがなく、来街者に求められることもままある。将来的に作成してゆきたい。

委員 既刊市史をふるさと納税の返礼品とすることは可能なのか。

事務局 返礼品として扱っている自治体も多いので、可能だとは考えている。セット販売や市制施行80周年記念での値下げなども含めて考えたい。

委員 自分の地域にどういった記録が存在しているかを知らない市民のほうが圧倒的に多い。残された古文書から、地域の歴史がどう見えてくるのかをその土地や自然と融合させながら説明していくことが重要ではないか。そうすると、そこに我々が想像しえない新しい状況が発生してくることが期待できる。

委員 今や、地方の大きな柱は観光振興や地域振興。地方では、役所も市民も、地域振興に対しての危機感を共有している。資料関連の課題は地道な作業になるだろうが、そこにも地域との関わりを持ってほしい。地域とのつながりが市史の根幹である。

閉 会